

寺院：福島県第14教区第264番長福寺

住所：福島県双葉郡川内村大字上川内字三合田29

<p>寺院の被害</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震により、本堂、庫裡、位牌堂が半壊した。 ・放射能汚染と除染による建物への被害も生じている。 ・境内の土木構造物にも被害が生じている。
<p>寺院の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難生活が続いており、仮設住宅に居住している。 ・檀信徒が離散し、先の見通しも立たない。精神的にも肉体的にも疲労している。 ・場所によってばらつきもあるが、放射能汚染の影響は大である。
<p>檀信徒の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・震災で自宅に住めなくなったり、放射能汚染の影響により避難している檀家があるが、転居先が広範囲であり、さらに何度も転居されているので、現在の居住先が把握できているのは5割程度である。 ・離檀した檀家もある。
<p>地域の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年9月に避難指示が解除され檀信徒の2割が帰還。 ・県が来年の3月まで仮設住宅等に居住することを許可。 ・除染が進み、少しだけでも何かが進んでいるように思えるようになった。 ・若い世代を中心に、人口が離散し始めている。
<p>復興の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所の状況が不安定なため、どうして良いか分からない現状であり、復旧の目途は立っていない。 ・これからどうなるか分からないため、あまりの出費はおそろしい。現状維持、復帰中心に考えている。

(H25. 10. 5 現在)



地震で崩落したままの参道。本堂屋根も未修理であり、シートと土嚢で応急処置のみの対応である。(撮影日不明)